

数学

東京大学 (前期・文科) 1/1

<全体分析>

試験時間	100分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

<p>解答形式 全問記述式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化) ここ2年位難しい問題ばかり出されていたが、今年は第4問の後半以外特に難しくなかった。</p> <p>出題の特徴 今年は標準的な問題が多く出題され、以前の東大文類のレベルに戻った。</p> <p>その他トピックス 文理同一の問題はなく、第2問が同じ設定で最後の設問が異なっていた。 新課程では整数の剰余に関する問題が出題された。</p>

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	図形・ベクトル	数学B	座標で考えるかベクトルで考えるか両方ありうる。	やや易
第2問	確率 数列	数学A 数学B	相撲の巴戦を野球でやる問題。試合を続行するためには待機していたチームが勝ち続けなければならないことに気付くことがポイント。	標準
第3問	2次関数 積分	数学I 数学II	2つの放物線が接する条件。 2つの放物線で囲まれる図形の面積の最大値を求める問題。	標準
第4問	整数 数列	数学A 数学B	3^n を10, 4で割った余り ((1), (2)) $x_{n+1} = 3^{x_n}$ を10で割った余りを求める問題。 (1), (2)を使って考えることがポイント。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>今回の問題では標準的な受験勉強をしっかりと学習して来たかどうか問われた。とはいえ競争のレベルは高いのだからソツなく確実に速く解答をする力をつけておかなければならない。 昨年までのような難問も出るかもしれないので、思考力、洞察力の訓練も怠らないように心掛けてほしい。</p>
--